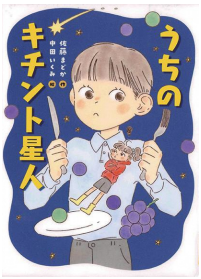
小学校3・4年生向け

うちのキチント星人



佐藤まどか／作
中田いくみ／絵
フレーベル館

新しく家族となったあっくんはなんでもキチントしないと気がすまないキチント星人。千歌はそんな彼のことが心配で…。

わたしたちの歌をうたって



堀直子／作
alma／絵
文研社版

転校生は自己紹介でいきなり黒板に何か書きだした。短歌って何？どこからあんな言葉が出てくるんだろう？

自分らしく、あなたらしく
きょうだい児からのメッセージ



高橋うらら／著
さ・え・ら書房

病気や障がいがある兄弟姉妹を持った子どもをきょうだい児といいます。なやみはみんなちがうけど知ることから始めませんか？

ちいさな花　咲いた



野中柊／作
くらはしれい／絵
金の星社

季節はずれに目覚めたたんぽぽと子犬のマール、街ねこのミーシャにめばえた友情。２匹は冬のたんぽぽを見守るのですが…。

直紀とひみつの鏡池



山下みゆき／作
もなか／絵
静山社

おじさんの庭にあらわれた“透けている人”がねこのシロとおじさんをツクバイの中に引きこんでしまった。さあどうやって救出する！？

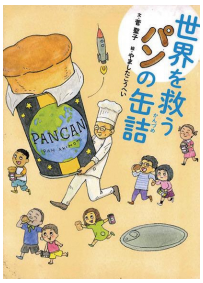
ふしぎなメリーゴーラウンド



リーザ=マリー・ブルーム／作
こやまこいこ／絵
はたさわゆうこ／訳
徳間書店

メリーゴーラウンドの木ぼりの動物たちは、毎晩30分だけ本当に生きているみたいにごはんをたべてみんなでおしゃべりします。

世界を救うパンの缶詰



菅聖子／文
やましたこうへい／絵
ほるぷ出版

栃木県のパン屋さんが被災者においしいパンを届けたい一心で作ったパンの缶詰。世界中の食べ物のない人にとどけられついに宇宙にも行きました。

スペルホーストのパペット人形



ケイト・ディカミロ／作
ジュリー・モースタッド／絵
横山和江／訳
偕成社

元船長の老人がおもちゃ屋で買ったパペット人形。王さま、オオカミ、少女、少年、フクロウ。みんなで語るひとつの物語。

くろい　はまべ　アースデイのはじまり



ショーナ&ジョン・スティス／文
マリベル・レチューガ／絵
武富博子／訳　　評論社

1961年、アメリカのサンタバーバラの海で油がもれる事故がおきました。まっくろな海とはまべを見て、みんなは立ちあがりました。

ふしぎなオルガン



リヒャルト・レアンダー／作
国松孝二／訳
岩波書店

神様のみこころにかなったカップルが教会に入ると、ひとりでに鳴り出すふしぎなオルガンを作り出した若者。それなのに、自分の結婚式にはなぜかオルガンが鳴りません。

あたまをつかった小さなおばあさん



ホープ・ニューウェル／作
山脇百合子／絵
松岡享子／訳
福音館書店

小さな黄色い家に住む小さなおばあさんは、とても上手に頭を使って、なんでも解決します。

宿題ロボット、ひろったんですけど



トーマス・クリストス／作
柴田純与／絵
もりうちすみこ／訳
あかね書房

宇宙船の操縦も１人でできる優秀なロボット・オルビー。最終テストの時オルビーに起こった変化にだれもきづかなかった。

いつまでもともだち



仁科幸子／作
偕成社

森でくらすハリネズミと土の中でくらすモグラ。２人は友だちになりました。森の音やにおいを楽しんですごしていましたが…。

カムイサウルス＝世紀の大発見物語＝



植田和貴／文
小林快次／監修
少年写真新聞社

北海道むかわ町で発見された恐竜の全身骨格化石。その発掘から再現までの記録。世紀の大発見のきっかけは小さな背骨だった。